

加舎 白雄(かや しらお)

資 料

短冊『葛の葉は ひるを寝る鹿の まくらかな 白雄』

作 者

1738(文元3). 8. 20-1791(寛政3)9. 13

江戸(東京都)深川生まれ。

信濃上田藩士の子として江戸深川の上田藩邸で生まれる。

前田青峨、松露庵烏明や白井鳥酔に俳諧を学ぶ。明和6年以降諸国を遊歴し、安永3年江戸に戻るが、鳥酔7回忌法要の際に烏明と絶縁する。明和9年再び、江戸に戻り春秋庵を開いて多くの門人を育てる。

天明6年頃鳴立庵5代庵主になる。

参考文献

『加舎白雄全集(上・下巻)』(加舎白雄 国文社 2008. 2 [県立911. 34/19A/1・2(22283907/22283915)])

『定本・俳人加舎白雄伝』(矢羽勝幸/著 郷土出版社 2001. 3 [県立/911. 34PP/133(21787601)])

『俳秀加舎白雄 江戸後期にみる俳句黎明』(金子晋/著 田工房 2008. 5

[県立/911. 34TT/138(22201974)])

